

2024年9月3日

*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

*本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

新型 Audi Q5 SUV：成功を収めたコンセプトは第3世代へ

- 新型 Audi Q5 SUV：ダイナミックなデザイン、高い適応性、新しいインフォテインメント、そして最新の操作コンセプト
- プレミアムプラットフォームコンバッション (PPC) を採用する初めての SUV。効率的な部分電動化内燃エンジンを搭載
- AUDI AG CEO デルナー：「新世代の高効率内燃エンジンを搭載した2番目のモデルとして、この新型モデルはアウディの製品ラインアップ刷新の新たな重要なステップを示します」

(ドイツ本国発表資料) 2024年9月2日、インゴルシュタット/サン・ホセ・チアパ：Audi Q5 SUV は、15年以上にわたりドイツおよびヨーロッパのミッドサイズセグメントで最も人気のある SUV のひとつです。アウディはさらにモダンでダイナミックになった Q5 の最新世代を発表します。Q5 は PPC をベースとする初めての SUV であり、MHEV plus テクノロジーにより、さらに経済的なガソリン/ディーゼルエンジンを搭載しています。Q5 は最新のインフォテインメントシステムおよび操作コンセプト、カスタマイズ可能なデジタルライトシグネチャー、そして最新の運転支援システムを特徴としています。そしてスポーティな Audi SQ5 は、新モデルシリーズをさらに魅力的にしています。今後、プラグインハイブリッドテクノロジーを搭載したモデルもシリーズに加わる予定です。

AUDI AG 取締役会会長 ゲルノート デルナー (Gernot Döllner) は、新型 Audi Q5 SUV の成功を確信して次のように述べました。「Audi Q5 は、15年以上にわたりアウディのミッドサイズクラスにおける最も成功し、最も重要な SUV モデルとして親しまれています。新型モデルは、その実証されてきた特長をさらに進化させたものです。この新型 Q5 は、新世代の高効率内燃エンジンを搭載した2番目のモデルとして、アウディのポートフォリオを若返らせる次なる重要なステップを示しています。ダイナミックな SUV デザインを持つスポーティなオールラウンダーである新型 Audi Q5 が、このサクセスストーリーを継続することを私は確信しています」。

アウディはこの新型 Q5 により、成功を収めたモデルの第3世代をスタートさせます。ミッドサイズ SUV の初代モデルは 2008 年に登場し、それ以来プレミアムブランドセグメントをリードしてきました。新型 Audi Q5 は、この成功の物語を引き継ぎます。

Q5 SUV は新型 Audi A5 モデルと同様、プレミアムプラットフォームコンバッション (PPC) をベースとする製品ラインアップの2番目のモデルです。このプラットフォームにより、アウディは異なるセグメントで、高い技術基準を持つ量販モデルを展開することが可能になりました。アウディは PPC の柔軟性により、将来のモデルに独自のキャラクターを持たせることができます。

Audi Q5 は、プレミアム SUV のミッドサイズセグメントで新しい基準を打ち立てます。スポーティで技術志向のデザイン言語が、優れた適応力と日常使いに適した実用性を組み合わせています。MHEV plus テクノロジーを備えた効率的かつ強力なエンジン、そして後にプラグインハイブリッドも加わり、アウディが将来を見据えたプレミアムモビリティを提供する方向性を示しています。E³ 1.2 エレクトロニク

スアーキテクチャにより、アウディはすべての新型モデルに、最新かつ将来を見据えたコネクティビティとデジタル化機能を統合しています。

アウディの Q5 モデルはこれまで 8 年間メキシコで製造されており、新型 Q5 もサン ホセ チアパ (San José Chiap) で生産します。北米市場に近いことは、とても重要な要素となっています。アウディの内燃エンジンと部分電動仕様を備えた SUV 製品ラインアップのリニューアルは、このモデルから始まります。

実用性：スペースコンセプトと可変性

最新世代 Audi Q5 は、主要な製品特性において大幅に向上しており、その違いは初めて乗ったときから感じられます。新しいインテリアコンセプトと相まって、十分なヘッドルームとレッグルームを備えた快適な空間を提供します。

第一の Audi Q5 SUV の実用的な特徴は、フルに調整可能なリヤシートです。このシートは前後移動、チルト（傾斜）するため、トランク容量を増やし、後部座席乗員の快適さを向上させ、かつ 3 人が快適にリヤベンチシートに座ることができます。シートを折りたたむと仕様に応じて最大 1,473 リットルまで収容スペースが拡張します。ラゲッジコンパートメントカバーは、ラゲッジコンパートメントの床下に用意された収納スペースに格納でき、さらなる荷物の収納スペースを提供し、カバーを安全に保管します。

他の実用的な特徴としては、先代モデルと比較してさらに大きくなったセンターアームレスト下の収納スペース、サングラスやキー等の小物を収納する多数の小型収納エリア、15 W の充電パワーを持つフロントセンターコンソールの冷却機能付き非接触充電トレイ、そして USB-C ポートは前部に 2 つ、後部に 2 つあります。オプションで、フロントの USB ポートは最大 60 W、リヤのポートは最大 100 W の充電能力を用意しています。これにより、ノートパソコンのような大型デバイスも、走行中に安全に充電することが可能です。

純粋さと躍動感：エクステリアデザイン

第 3 世代 Q5 SUV モデルは、さらにスポーティで完璧な均整が取れています。引き締まった高いショルダーラインが力強いシルエットを形成し、フロントライトとリヤライトをつなぎ、車両をより長く見せています。サイドシルの上には、ホイールアーチ上からバンパーに繋がる上昇するラインが走り、停車していてもダイナミックな印象を与えます。

フロントの表情は自信に満ちて、すべての特徴的なデザインエレメントが、先代モデルよりも一段高い位置に配置されています。スポーティで幅広いシングルフレームは高い位置に配置されており、垂直に配置された機能的なエアカーテンに挟まれています。

鋭く立体的に形作られたヘッドライトがシャープな印象を与え、車両のフロントからその俊敏で自信に満ちたキャラクターを表現しています。シングルフレームの下にはセンサーが搭載された大型のエアインテークがあり、Q5 に視覚的に安定したワイドなイメージを与えています。

Sline のエクステリアは、マットなアンスラサイトクローム調のアクセントが施されたエアカーテンチューブなど、目を引くスポーティなボディコンポーネントが印象的です。S モデルでは、これらの要素はマットシルバークロームのイメージとなります。

Q5 SUV の後部は、ラインを最大限に削減することで非常にクリアなデザインを実現しています。ウィンドウから立体的に形作られたライトストリップの下端まで、滑らかな表面が広がり、車両全幅にわたるシャープなライトストリップによって特徴付けられています。ライトストリップとバンパー間のエリアはすっきりとまとめられており、SUV にスポーティでエレガントなイメージを与えています。ディフューザーは隆起したバンパーの高い位置に一体化されています。機能的なテールパイプの配置と形状はエンジンによって異なり、ディーゼルエンジンモデルは左側に 2 つのスクエアテールパイプ、ガソリンエンジンモデルは、左右に長方形のテールパイプが配置されます。S モデルには、新たにシャープなデザインの 4 つのラウンドツインテールパイプが特徴となっています。

3 つの形状特徴と 11 色のカラーバリエーション

ベーシック、アドバンストエクステリア、そして S line エクステリアの 3 つのバージョンが用意されています。さらに、S モデルには独自のエクステリアデザインが施されています。S line エクステリアおよび S モデルでは、フロントエアインテークが大きく、L 字を描くような空力ダクトとしてデザインされています。リヤのディフューザーは一段とスポーティになっています。また、S line エクステリアおよび S モデルには、ブラックエクステリアパッケージも用意されています。

新しい Audi Q5 モデルには、11 色のカラーバリエーションが用意されています。アルコナホワイトのソリッドペイント仕上げのほか、メタリックペイント仕上げではグレイシャーホワイト、ミトスブラック、フロレットシルバー、ナバーラブルー、グレナディンレッド、ディストリクトグリーン、そして新色のタンポラグレーがあります。ウルトラブルーメタリック、デイトナグレーパールエフェクト、新色のサキールゴールドメタリックは、S モデルまたはエクステリア S line 専用です。特に高品質で、顧客の希望に応じて個別に設定可能な Audi エクスクルーシブによる個別塗装仕上げも、Q5 モデルに用意されます。

新しい Audi Q5 SUV モデルでは、ドイツ市場向けに、エクステリアやエンジン仕様に応じて 17 インチから 21 インチのアルミホイールを装備します。エアロダイナミクスに最適化されたホイールは、17 インチから 19 インチのサイズでオプションとして提供されます。

S line エクステリアおよび S モデルには標準で 19 インチホイールが装備され、他の S モデルで見られる S デザインの鍛造 21 インチホイールもオプションで選択可能です。オプションの 21 インチトリカラーホイールは、ホイールラインアップの中で特に豪華なハイライトとなっています。

洗練されたラインと居心地の良い雰囲気：インテリアデザイン

新型 Audi Q5 SUV のインテリアデザインは、Audi インテリアデザインの 4 つの基本特徴を踏襲しています。まず第一の特徴は「ヒューマンセントリック」であり、インテリアはユーザーのニーズに一貫して対応するよう設計されています。

インテリアの明快なレイアウトは、見やすさを大切にしており、第二の特徴である「視覚的な明快さ」を形成します。機能性と美しさが細部に至るまで融合されており、この明確なデザインアプローチは、水平に構成されたコントロールパネルで明らかに感じられます。高品質な素材で作られたアプリケーションが羽のようにコントロールパネル全体に広がり、ドアへ移行するところで持ち上がります。コントロールパネルは「デジタルステージ」とその形状にフィットしたエアベントの基盤を形成します。センターコンソールとドアの一貫したデザインが、インテリアの調和を印象づけています。アルミ調の半円形で湾曲したデザインが、ドアとセンターコンソールのコントロールを囲み、その上昇するラインが Audi Q5 の堅牢でスポーティな SUV の哲学を強調しています。

第三の特徴となる「デジタルステージ」はインテリアの中心的な要素で、運転席と助手席の前にオーディオ MMI ディスプレイが設置されています。このディスプレイはインテリアに完璧に統合されており、スリムで独立したオーディオ MMI パノラマディスプレイは、カーブしたデザインと OLED 技術を備えており、11.9 インチの Audi バーチャルコックピットと 14.5 インチの MMI タッチディスプレイを搭載しています。

助手席専用の 10.9 インチ MMI パッセンジャーディスプレイも特別にオーダー可能です。アクティブブラインドモードのシャッターテクノロジーにより、助手席乗客はドライバーの視線を妨げることなく、インフォテインメントシステムを自由に使用できます。同時に、ナビゲーションなどでドライバーをサポートするオプションも提供します。

そして第四の特徴となる「マテリアルドリブンデザイン」を取り入れた新型 Audi Q5 は、広々とした感覚と高い快適性を両立させています。デジタルや技術的な部分の対比として、ソフトラップエレメントがドアからドアまでダッシュボード全体に渡って広がっています。ドアのファブリックパネルやアームレストと共に、居心地の良い雰囲気を作り出しています。この素材を重視したデザインフィロソフィーによって、顧客は自身のアイデアに沿ってインテリアをカスタマイズすることが可能です。

素材は機能性を重視して選ばれており、同時にインテリアの各エリアのデザインを明確に区別します。快適さを重視したエリアは、表面を広く取りソフトな素材で強調されています。一方で、コントロール部分は正確にデザインされ、オプションで高品質なハイグロスブラックを選ぶこともできます。

Sline バージョンでは、ダイヤモンドパターンによるキルティングのシート、ソフトラップ、ドアミラー、アームレストが、Kaskade (カスケード) や Dinamica (ダイナミカ) といったサステイナブルな素材で仕上げられています。Kaskade テキスタイルのシートは、ウールなどの天然素材を思わせるもので、追加の染色をすることなく、端切れやリサイクルポリエステルなどのリサイクル素材で作られています。カバーの一部には、リサイクルプラスチック繊維を含む Impressum (インプレスム) という素材が使用されています。Dinamica はスエードのような外観と感触を持ちますが、その約半分はリサイクルポリエステルから作られており、廃棄された繊維が活用されています。

ダイナミックインタラクションライト

新型 Audi Q5 SUV のクリアにデザインされたインテリアは、夜間も際立ちます。ダッシュボードやドア輪郭のライトがインテリアの幅を強調し、カーブした Audi MMI パノラマディスプレイの下とセンターコンソールにある間接照明が、視覚的な浮遊感を作り出します。

ドアの高品質な素材が美しく照らされ、さらにダイナミックインタラクションライト (IAL) がインテリア全体に LED ライトストリップとして広がり、乗員と車両とのやり取りをサポートします。IAL は一方でインテリアを演出し、例えばウェルカム機能を提供したり、車両のロック・アンロックを示したりします。また、安全性もサポートし、例えばダイナミックインジケータライトを視覚化します。これにより、バーチャルコックピット内の表示が強化されます。IAL は常に追加表示として機能し、バーチャルコックピット内のターンシグナルを置き換えるものではありません。ダイナミックインタラクションライトはアンビエントライティングパッケージプラスの一部です。

空力性能とエアロアコースティックス

新型 Audi Q5 SUV では、さまざまな細かなソリューションによって、空力性能とエアロアコースティックスが最適化されています。車両のアンダーボディのカバーや、前後部に空力設計を施すなどの工夫は、空力コンセプトにおいて重要な役割を果たしています。エアカーテンの採用により、空気の流れを変えホイールアーチを抜けるように設計しているため、車両の前輪や側面周辺の乱流を最小限に抑えられます。

また、エアディフレクターによって空気の流れが前輪の周りに誘導されます。広範囲にわたるアンダーボディカバーは、車両の下部を流れる空気の乱流を抑えます。車両後部の側面にはエアロパネルがあり、ボディワークに沿って空気が明確に分離されるようになっています。さらに、深いルーフスポイラーもこの効果を高めています。エクステリアミラーも空力的に最適化されています。

新型 Q5 SUV のエアロアコースティックスも高い水準で設定されています。フロントガラスには標準でアコースティックガラスが装備されており、さらに運転快適性を向上させるため、フロントサイドウィンドウにもオプションでアコースティックガラスを選ぶことができます。

昼夜を問わず印象的なライティングデザイン

新型 Audi Q5 SUV は、アウディがライティングデザインとテクノロジーにおいてリーダーシップを発揮するだけでなく、その一歩先を進んでいます。リヤライトは立体的なデザインにより、車両全幅にわたるライトストリップとともに、物理的な世界とデジタルワールドの双方を見事に融合させています。第二世代のデジタル OLED リヤライトと、リヤウィンドウ上のスポイラーのプロジェクトライトは、ヨーロッパで初めて導入されるもので、安全性を向上させます。このライトはグラフィックをリヤウィンドウの上部に投影し、ブレーキライトの面積を拡げます。また、車両ロック・アンロック時の「カミングホーム」および「リーピングホーム」シーンにも組み込まれています。

第二世代のデジタル OLED コンビネーションリヤライトでは、合計 266 のセグメントを持つ 6 つのデジタル OLED パネルが、特別に開発されたアルゴリズムにより数秒ごとに新しい画像を生成します。

アクティブデジタルライトシグネチャーは、アウディのライティング技術の未来を示しています。フロントでは、15 のセグメントがアルゴリズムに沿って相互作用し、アクティブデジタルライトシグネチャーを作り出します。各ライトセグメントは、光の強度が変化しないように相互作用し、光のシグネチャーが全体的に一定に保たれます。ライティングデザイン部門の責任者セザール ムンターダ (César Muntada) は、「新型 Audi Q5 では、量産モデルにおいてライトの形状だけでなく、その全体的な動きもデザインしています。私たちのライティングデザインと新しいテクノロジーの調和により、Q5 のライトはこれまで以上に生き生きとしています。私たちはライトシグネチャーに独自の個性を持たせ、デジタルな世界に独自の美学を同時に提供しています。アクティブデジタルライトシグネチャーによって、新型 Q5 は、アウディでしか見られないユニークなデザインと美学を継続しています。」と語っています。

デジタル OLED コンビネーションリヤライト 2.0 により、Q5 はそのクラスにおけるライティングデザイン、機能領域、そして安全性を新たなレベルに引き上げました。第二世代のデジタル OLED コンビネーションリヤライトは、車両間通信 (car-to-x communication) によりターゲットを絞ったコミュニケーションを取ることが初めて可能になりました。2020 年に初めて導入された近接検知機能は、新型 Q5 ではコミュニケーションライトを加えて進化しています。これは事故や故障時に、他の道路利用者に警告します。危険な運転状況や交通状況では、通常のテールライトグラフィックに加え、デジタル OLED コ

コンビネーションリヤライトに、特定のスタティック（静的）テールライトシグネチャーと、統合された警告シンボルを表示します。

この技術は、個性化の面でも新たな基準を打ち立てています。装備によっては、最大 8 つのデジタルライトシグネチャーをマトリクス LED ヘッドライトのデイトタイムランニングライトとデジタル OLED テールライト 2.0 に設定可能で、ドライバーは新しい方法で Q5 をパーソナライズできます。車両のロック・アンロック時の「カミングホーム」および「リービングホーム」シーンが特別にデザインされ、各デジタルライトシグネチャーに取り入れられています。

極限まで現代的になった内燃機関と MHEV plus

新型 Audi Q5 SUV ファミリーは、縦置き内燃機関を搭載する従来型車両用のプラットフォームアーキテクチャであるプレミアムプラットフォームコンバクション（PPC）を採用しています。Q5 シリーズのすべてのモデルは、市場投入時点で高効率の MHEV plus テクノロジーを搭載しています。

48 V の電気システムを採用した新しい MHEV plus システムは、内燃機関をサポートし、CO2 排出量を削減しながらパフォーマンスとドライブの快適性を向上させます。また、限られた範囲でバッテリーEVのように純粋な電動による運転や駐車も可能です。パワートレインジェネレーター（PTG）は、最大 230Nm の追加駆動トルクと最大 18 kW（24 hp）のパワーを生成します。48 V のシステムにより、電動エアコンプレッサーの使用も可能となります。これにより、エンジンが停止している時（例えば、コースティング中や信号待ち等）でも、エアコンがフルパワーで稼働を続け、車内を快適な温度に保つことができます。

MHEV plus 搭載車両のリチウムイオンバッテリーは、リン酸鉄リチウムイオン（LFP）電池で、1.7kWh のストレージ容量を持ちます。ベルトスタータージェネレーターの主な役割は、エンジンスタートとバッテリーへの電力供給です。

新しいパワートレインジェネレーター（PTG）は、電動走行を可能にし、内燃機関の負担を軽減して、燃料消費を削減するのに役立ちます。減速時には、パワートレインジェネレーター（TSG）が最大 25 kW のエネルギーをバッテリーに回生します。PPC は、マイルドハイブリッドとして段階的な電動化を可能にします。新型 Audi Q5 のモデルライフサイクルの後半には、大容量バッテリーと外部充電オプションを備えたプラグインハイブリッドもラインアップに加わります。

市場投入時の 3 つのエンジンバージョン

新型 Audi Q5 SUV モデルは、ヨーロッパでは 3 つのエンジンバージョンで市場投入され、さらに駆動バリエーションが追加される予定です。市場投入時には、すべてのバリエーションが MHEV plus テクノロジーを搭載し、短時間で最大 18 kW（24 PS）の追加パワーを発揮します。すべてのモデルは 7 速 S トロニックデュアルクラッチトランスミッションが組み合わされます。

エントリーレベルのエンジンは、2.0 TFSI で、150 kW（204 PS）、340 Nm の最大トルクを発揮し、前輪駆動が標準装備されます。オプションで quattro 四輪駆動システムも選択可能です。

Audi Q5 には、EA288 evo 世代の 2.0 TDI も用意されており、150 kW（204 PS）、400 Nm のトルクを発揮し、quattro 四輪駆動システムのみが提供されます。

Audi SQ5 は、シリーズのトップモデルとして市場投入されます。排気量 3.0 リットル V6 TFSI は 270 kW (367 PS) を発揮、最大トルクは 550 Nm です。

俊敏なハンドリングと快適性

新型 Audi Q5 SUV は、アウディブランド特有の運転特性を提供し、ほぼ中立的なハンドリングを実現しています。また、最適化されたサスペンションとステアリング設定により、快適性が大幅に向上しています。標準モデルでもダイナミックなキャラクターにチューニングされたスチールサスペンションが装備されており、さらにオプションでスポーツサスペンション (Audi SQ5 は標準装備) も選べます。スチールスプリングサスペンションは、パッシブダンピングシステム FSD (Frequency Selective Damping) と、より俊敏なフロントアクスルと組み合わせることで、Q5 の安定性をさらに高めています。FSD は、特に高頻度の振動 (例えば石畳の上など) に対してダンピング力を低下させ、低頻度の振動 (レーン変更やコーナリング時など) には高いダンピング力を維持します。オプションで装備できるエアサスペンションは、アダプティブダンパー制御が利用可能です。このエアサスペンションの基本設定は、アウディ ドライブセレクトで個々の要件に合わせて調整できます。

先代 Q5 に比べ、コンフォートモードとスポーツモードの差がより顕著になっています。新型 Q5 は、進化したプログレッシブステアリングが標準装備となっています。

最新世代のドライバーアシスタンスシステム

アウディは、新型 Q5 モデルに幅広いドライバーアシスタンスシステムを提供しており、これにより日常使いの利便性と安全性が大幅に向上します。市場投入時点で標準装備される機能には、リヤパーキングアシスト (距離表示付き)、クルーズコントロールとスピードリミッター、レーンデパーチャーアラート、エフィシエンシーアシスタント、注意力欠如・眠気検知アシスタントがあります。

オプションで、追加のアシスタンスパッケージを用意しています。例えば、このパッケージに含まれるアダプティブドライビングアシストプラスは、高解像度のマップデータとクラウドで計算された他の車両からのスワームデータを使用して、交通標識の認識を最適化し、加速、速度維持、距離保持、レーンガイドランスをサポートします。アクティブフロントアシストは、フロントエマージェンシーブレーキアシスト、エバージョン (危険回避) アシスト、ターンアシスト、フロントクロストラフィックアシストの 4 つのアシスタンス機能を組み合わせています。その他のアシスタンスシステムには、交通標識ベースのクルーズコントロール、パークアシストプラス、リヤターンアシストなどがあります。

ディスプレイと操作コンセプト

Audi Q5 モデルシリーズのインテリアは、新しいエレクトロニクスアーキテクチャに基づく完全にネットワーク化されたデジタルインテリアです。Audi MMI パノラマディスプレイと MMI パッセンジャーディスプレイで構成されるデジタルステージは、インテリアの大きな特徴です。10.9 インチの MMI パッセンジャーディスプレイは、アクティブプライバシーモードを備えています。このテクノロジーにより、助手席乗員は運転中のドライバーの気を散らすことなくディスプレイを見ることができます。ドライバーには黒い画面のみが表示されます。

学習機能を備えた音声アシスタントのアウディ アシスタントを使用して、さまざまな車両機能を操作できます。この AI サポート付きのデジタルアシスタントは、車両に統合されており、初めてアバターを採用して MMI の中央タッチディスプレイとヘッドアップディスプレイに表示します。インストルメントディスプレイには、アウディアシスタントのステータスを示すアイコンが表示されます。

スマートインフォテインメントシステム

Audi Q5 SUV のインフォテインメントシステムは、Android Automotive OS をオペレーティングシステムとして採用しています。コンテンツは over the air (オーバー ジ エア) で更新されるため、最新の Audi connect サービスを常にご利用することができます。YouTube などのアプリは、MMI に直接統合されたサードパーティアプリのストアから入手でき、スマートフォンなしで利用できます。

Bang & Olufsen プレミアムサウンドシステムの心臓部は効率的なアンプです。このアンプは 16 個のスピーカーを 685 W のパワーで駆動します。

A ピラーとミッドレンジスピーカーは、最高の 3D サラウンドサウンドを生み出します。ドイツのフラウンホーファー研究機構 (Fraunhofer Institute) が開発した「Symphoria (シンフォリア)」テクノロジーによるもので、音の立体感 (幅、深さ、高さ) を加えて自然な音像を作ります。これにより、車内での広がりのある空間を創出します。

アウディ サウンドシステムに対して、Bang & Olufsen プレミアムサウンドシステムは、車内のノイズをキャンセルするビークルノイズコンペンセーション (Vehicle Noise Compensation : VNC) 機能を搭載しています。顧客は、Functions on Demand (ファンクション オン ディマンド) を通じて、いつでも音響体験を拡張するオプションも利用できます。

個別に設定可能なヘッドアップディスプレイ

Audi Q5 は、オプションで設定可能なヘッドアップディスプレイ (HUD) が用意されています。HUD は、速度、アシスタンスシステム、ナビゲーション指示、メディアデータなど、広範な情報を明確かつ簡潔に表示します。

新型 Audi Q5 では、ドライバーが HUD を介して車両およびインフォテインメント機能を操作するオプションがあります。これにより、ステアリングホイールボタンを使ってリストをスクロールし、直接選択することが可能になります。これは初めての試みです。

これにより、ドライバーは視線を道路から外すことなく、目的地を履歴から簡単に選択できます。着信電話もヘッドアップディスプレイに表示され、ステアリングホイールボタンを使用して直接応答できます。HUD には、最後に発信した通話も表示され、よく通話する番号の選択が容易になります。メディアも HUD を介して操作できます。エンターテインメントモードでは、お気に入りのラジオ局やポッドキャストを、リストコントロールを使って選択することができます。

メキシコでの持続可能な生産

新型 Audi Q5 ファミリーは、メキシコのサン ホセ チアバにあるアウディの拠点で生産されます。PPC 製品ラインアップの電動化が進むにつれて、部分的に電動化されたプラグインハイブリッドのバリエーションもここで生産される予定です。「360factory」生産戦略の一環として、アウディは持続可能性を重要視しています。

サン ホセ チアバ工場は、資源を効率的に使うことを目指した生産拠点で、持続可能な水の使用におけるロールモデルとされています。アウディ メキシコは、CO2 ニュートラルな生産に向けた最終段階にあります。

この工場は、効率的な水管理に関して、Alliance for Water Stewardship (AWS) の基準に基づいて認証された世界初の自動車工場です。この認証は、逆浸透水処理システムや専用の貯水池に雨水を集めるシステムなど、水の持続可能な利用を実現するための多くの対策の成果によるものです。工場では年間 15 万立方メートルの水を節約しており、これはオリンピックサイズのプール 60 個分に相当します。

効率的な廃棄物管理により、工場が発生する廃棄物のリサイクル率は 90% を超えています。プレス工程からの金属くずなどの材料のリサイクルに加え、部品の包装においても一貫してプラスチック廃棄物を出さないよう努めています。現場には専門家を置き、使い捨て材料の使用を最小限に抑えるために、通常のプラスチック包装に代わる代替品を開発しました。

市場投入

新型 Audi Q5 SUV および Audi SQ5 SUV は、2025 年第 1 四半期にドイツおよび多数のヨーロッパ諸国で発売されます。Audi Q5 ファミリーは、2024 年 9 月からドイツで注文可能です。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、12 カ国 21 か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界 100 以上の市場に存在しています。2023 年、アウディ グループは、190 万台のアウディ、13,560 台のベントレー、10,112 台のランボルギーニ、および 58,224 台のドゥカティを販売しました。2023 会計年度において、アウディ グループは総収益 699 億ユーロ、営業利益 63 億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは 2023 年に 87,000 人以上が働き、そのうち 53,000 人以上がドイツの AUDI AG で働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。
